

令和3年度当初予算(案) 附属資料

ページ

産業・労働

- 行ってみたい神奈川の魅力づくり…………… 1
 - 一部(新)・神奈川県観光魅力創造協議会運営事業費…………… 3
 - (新)・国内観光プロモーション事業費…………… 4
 - (新)・観光客受入環境整備費補助…………… 5

県民生活

- 多文化共生の地域社会づくり…………… 6
 - 一部(新)・コロナ禍における外国籍県民支援…………… 7
 - 一部(新)・地域日本語教育の総合的な体制づくり…………… 8
 - 一部(新)・（公財）かながわ国際交流財団の取組み…………… 9

- コロナ禍における文化芸術振興の主な取組み…………… 10

(注) 各表中の金額は、表示単位未満切り捨てのため合計と符合しないことがある。

国際文化観光局

行ってみたい神奈川の魅力づくり

1 目的

新型コロナウイルス感染症対策に万全を期した上で、東京2020大会の開催等を契機とした国内観光客の誘致に取り組むとともに、外国人観光客の段階的回復に向けて、付加価値の高いコンテンツの充実等の準備に柔軟に取り組み、感染症の収束後を見据えた、魅力ある神奈川づくりを推進する。

2 予算額（国際文化観光局）総額 21億5,897万円

（3年度当初予算額 6億2,551万円、2年度2月補正予算額等 15億3,345万円）

3 主な事業内容（国際文化観光局の主な事業）

区分	主な事業名及び事業概要	3年度当初予算額 (2年度2月補正予算額等)
	(1) 観光資源の発掘・磨き上げ	3億296万円
一部 新	① 神奈川県観光魅力創造協議会運営事業費 国内外の観光客を誘致するため、官民連携の協議会を活用し、ワーケーション等の新たな旅のスタイルの展開や、観光客を引きつけるコンテンツの充実に取り組むとともに、データ分析機能を強化し、プロモーションに活用することで、コロナ後の観光振興を図る。	2,111万円
	② 観光の核づくり推進費補助 横浜、鎌倉、箱根に次ぐ国際観光地の創出に向けたネクストステージとして、観光の核づくり地域である城ヶ島・三崎、大山、大磯の3地域における民間事業者と連携した主体的かつ効果的な取組み等に対して補助する。	3,000万円
	③ コロナ禍におけるマグネット・カルチャー推進事業 活動の場が失われている民間の文化芸術活動への支援や東京2020組織委員会が主催する「東京2020 NIPPON フェスティバル」への参画等により、コロナ禍においても必要な魅力あるコンテンツの創出やその担い手となる人材の育成等に取り組む。	2億5,185万円
	(2) 戦略的プロモーションの推進	2億4,196万円 (15億3,345万円)
	④ 「地元かながわ再発見」推進事業費 新型コロナウイルス感染症により深刻な影響を受けた観光事業者を支援するとともに、地元・神奈川県の魅力を再発見する契機とするため、県民限定で県内旅行の費用を支援する。 ・1人当たり支援上限額：宿泊5,000円、日帰り2,500円 <2年度繰越事業>	(15億3,345万円)
新	⑤ 国内観光客誘致のための戦略的取組み 県外からの観光客の誘致や県内周遊を促進するため、東京2020大会や大河ドラマ「鎌倉殿の13人」放送等の機会を捉えて、鉄道事業者等と連携したプロモーションを行う。	1億4,756万円
	⑥ テーマ別観光プロモーション事業費 外国人観光客の段階的回復に向け、国内外の感染状況を見極めながら、オンラインを活用するなどして、教育旅行、MICE、富裕層、クルーズ客等の多様なニーズや客層に対応したテーマ別のプロモーションを実施する。	1,511万円
	⑦ 海外市場別観光プロモーション事業費 外国人観光客の段階的回復に向け、国内外の感染状況を見極めながら、ターゲット国・地域（中国、台湾、ベトナム）に観光レップを設置し、旅行会社・メディア等への情報収集・発信、オンライン商談会等を行う。	1,066万円
	⑧ 民間事業者等連携観光振興促進事業費 東京2020大会の開催を契機に、国内外の感染状況を見極めながら、民間事業者や大会開催地等と連携したオンラインプロモーションや、旅の途中いわゆる「旅ナカ」での情報発信を強化する。	1,315万円
	⑨ 外国語観光情報発信事業費 外国人観光客の段階的回復に向け、外国語観光情報ウェブサイトやSNS、パンフレットを活用して本県の観光情報を多言語で発信する。	5,546万円
	(3) 受入環境の整備	3,890万円
新	⑩ 観光客受入環境整備費補助 国内外の観光客が安全かつ快適に滞在できる環境づくりに向け、感染症対策、災害対応、バリアフリー化の整備等に取り組む民間事業者等に対して補助する。	3,000万円

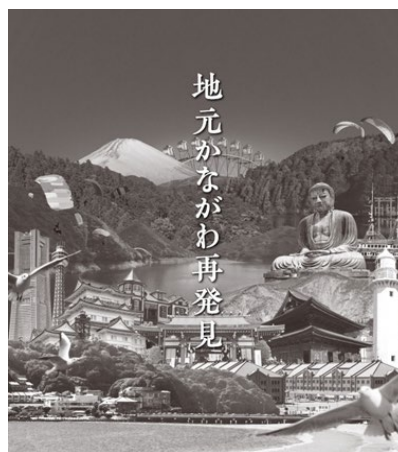
区分	主な事業名及び事業概要	3年度当初予算額 (2年度2月補正予算額等)
	⑪ 外国人観光客受入おもてなし向上推進事業費 外国人観光客の満足度を高め、新たな誘客やリピーターの確保を図るため、高い専門性を持ったおもてなし人材を育成するとともに、異文化や多様性への理解を促進するための講座を開催する。	186万円
	⑫ 観光ガイド活動環境整備事業費 東京2020大会開催時の訪日観戦客等に対し、県内観光地の魅力や情報等を伝えるための観光ボランティアガイドを配置する。	704万円
(4) 観光関連産業の成長促進		4,168万円
	⑬ アンテナショップ運営委託事業費 アンテナショップ「かながわ屋」における県産品の展示・販売を通じて、神奈川の魅力を広く発信し、認知度の向上を図る。	2,357万円
	⑭ かながわ産品魅力発信事業費補助 「かながわの名産100選」をはじめとする県産品の発掘・魅力発信や、物産展への出展、オンライン販売サイトの運営等を通じた観光PRを行う事業に対して補助する。	1,710万円
	⑮ かながわ産品魅力発信事業費 「かながわの名産100選」の生産、販売等を行う事業者が、安心してロゴ・マークを活用できるようにするため、ロゴ・マークの商標登録を行う。	101万円
計		6億2,551万円 (15億3,345万円)

<参考> 予算額 (他局の主な事業)

区分	3年度当初予算額 (2年度2月補正予算額等)
観光資源の発掘・磨き上げ 県西地域への誘客の取組みなど	8,136万円
計	8,136万円



①ワーケーション等の新たな旅のスタイル(イメージ)



④「地元かながわ再発見」推進事業費

問合せ先			
【①、⑥～⑫】	国際文化観光局観光部国際観光課	課長	三浦 電話 045-210-4015
【②、④、⑤、⑬～⑮】	国際文化観光局観光部観光企画課	課長	渡邊 電話 045-210-5760
【③】	国際文化観光局	マグカル担当課長	赤池 電話 045-285-0760

1 目的

国内外の観光客を誘致するため、官民連携の協議会を活用し、ワーケーション等の新たな旅のスタイルの展開や、観光客を引きつけるコンテンツの充実に取り組むとともに、データ分析機能を強化し、プロモーションに活用することで、コロナ後の観光振興を図る。

2 予算額 2,111万円

3 事業内容

(1) ウィズコロナ時代の新たな旅のスタイルの展開

旅の分散化や閑散期の誘客促進に向け、ワーケーションやブレジャー*等、地域性に応じたプランの造成を支援することで県内全域における新たな旅のスタイルを展開する。

※ ブレジャー：出張等の機会を利用し、出張先等で滞在を延長し、余暇を楽しむこと。

(2) 高付加価値コンテンツの充実

東京2020大会を契機に旅行需要の早期回復が見込まれる外国人富裕層等に向け、地域や事業者と連携し、国内外の観光客を引きつける「高付加価値コンテンツ」の充実を図る。

(3) 観光商談会等の開催

新型コロナウイルス感染症の拡大により、打撃を受けた国内外旅行会社と県内観光事業者等との商談会の場を設定し、これまで磨き上げてきた観光コンテンツの情報を提供し、旅行商品造成に向けた働きかけを行う。

(4) データ分析に基づく観光戦略の推進

県が実施したSNS分析調査や外国人観光客実態調査、国の統計調査等、各種データの分析結果について、協議会を通じて地域と共有を図り、エリアごとのプロモーションへの活用など、データに基づく観光戦略を推進する。

問合せ先

国際文化観光局観光部国際観光課 課長 三浦 電話 045-210-4015

⑨ 国内観光プロモーション事業費

1 目的

新型コロナウイルス感染症の状況を見極めながら、県外からの観光客の誘致や県内周遊の促進を図る。

2 予算額 1億4,756万円

3 事業内容

新型コロナウイルス感染症対策に万全を期した上で、東京2020大会や大河ドラマ「鎌倉殿の13人」放送等の機会を捉えて、鉄道事業者等と連携したプロモーションを行う。

事業内容	金額
鉄道事業者等が行う旅行商品（企画切符等）の造成・販売に対して支援	1億1,504万円
「新しい生活様式」に沿った非接触型のデジタル・スタンプラリーを実施	2,201万円
各種プロモーションツールの作成等	1,049万円
計	1億4,756万円

問合せ先

国際文化観光局観光部観光企画課 課長 渡邊 電話 045-210-5760

(新) 観光客受入環境整備費補助

1 目的

国内外の観光客が安全かつ快適に滞在できる環境づくりに向け、感染症対策、災害対応、バリアフリー化の整備及び多言語表記や自動翻訳機等の整備に取り組む民間事業者等に対して補助を行う。

2 予算額 3,000万円

3 事業内容

(1) 安全・安心に資する受入環境整備事業

ア 補助対象事業者

宿泊事業者及び観光施設の設置事業者（共用部のバリアフリー化は宿泊事業者のみ）

イ 補助対象事業

補助の対象となる事業	補助率	上限額
感染症対策 ・混雑状況の「見える化」システムの設置 等	1/2	800 千円/1 事業者
災害対応 ・非常時対応充電スポットの設置 ・無料公衆無線 LAN の整備 等	1/2	800 千円/1 事業者
共用部のバリアフリー化 ・段差の解消、スロープの設置 ・車椅子利用者用トイレの設置、改修 等	1/2	2,000 千円/1 事業者

(2) 観光資源周遊に資する受入環境整備事業

ア 補助対象事業者

民間事業者

イ 補助対象事業

補助の対象となる事業	補助率	上限額
外国語表記の整備 ・外国語表記による観光案内板の設置、ウェブサイト の作成 等	1/2	2,000 千円/1 事業者
無料で利用可能なトイレの整備 ・和式便器から洋式便器への改修 等	1/2	3,000 千円/1 事業者
自動翻訳機の整備 ・自動翻訳機の購入に係る費用	1/2	100 千円/1 事業者

※ (1)、(2)とも、申請額が予算額を超過した場合は、中小企業者を優先して採択

問合せ先

国際文化観光局観光部国際観光課 課長 三浦 電話 045-210-4015

多文化共生の地域社会づくり

1 目的

外国籍県民等がくらしやすい環境づくり、神奈川でくらし学ぶ留学生への支援、地域における多文化理解の推進などに取り組み、国籍にかかわらず、お互いが理解し合い、県民一人ひとりが生きがいを持って共に笑い、心豊かにくらすことができる多文化共生の地域社会づくりを進める。

2 予算額（国際文化観光局） 4億6,207万円

3 主な事業内容（国際文化観光局の主な事業）

区分	主な事業名及び事業概要	3年度当初予算額
(1)	多文化理解の推進	1億9,167万円
	① 地球市民かながわプラザ指定管理費（事業費） 地球市民かながわプラザの展示学習事業、外国籍県民支援事業、NPO等活動支援事業等を実施する。	1億8,122万円
	○ その他 多文化共生推進事業費等	1,045万円
(2)	外国籍県民等も安心してくらす地域社会づくり	2億1,323万円
一部 新	② 多言語情報支援事業 外国籍県民等が安全・安心に過ごすことができる環境をつくり、多文化共生社会を実現するため、「多言語支援センターかながわ」の運営体制を強化するとともに、多言語による情報支援の充実を図る。	4,510万円
一部 新	③ 地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業 地域における日本語教育の総合的な体制づくりを進めるため、各地域の実情に応じた日本語教育に関するプログラムの企画・調整等を担うコーディネーターの配置等を行う。	5,000万円
新	④ 地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業費補助（市町村） 地域における日本語教育の総合的な体制づくりを進めるため、日本語教室の運営等に取り組む市町村に対して補助する。	750万円
一部 新	⑤ （公財）かながわ国際交流財団補助金 多文化共生の地域社会づくりを推進するため、（公財）かながわ国際交流財団の多文化共生に係る事業や国際人材育成事業等に対して補助する。	1億 200万円
	⑥ 医療通訳派遣システム事業費 外国籍県民が安心して医療を受けられるように、協定を結んだ医療機関からの派遣依頼を受け、医療通訳を派遣するシステムの運営を行う。	464万円
	○ その他 外国籍県民情報提供推進事業費等	399万円
(3)	外国人が活躍できる環境づくり	5,716万円
一部 新	⑦ 留学生支援事業費 多文化共生社会及びグローバル人材が活躍する活力ある神奈川の実現を図るため、「かながわ国際ファンクラブ KANAFAN STATION」を拠点に、外国人留学生に対しニーズに応じた支援等を行う。	1,138万円
	○ その他 留学生就職支援事業費等	4,577万円
	計	4億6,207万円

<参考> 予算額（他局の主な事業） 4,891万円

構成施策名	事業概要	3年度当初予算額
(1) 多文化理解の推進	人権教育の指導者研修等の開催や関係資料の整備等	1,082万円
(2) 外国籍県民等も安心してくらす地域社会づくり	労働問題全般にかかる労働者や事業主等への指導・助言等	1,197万円
	日本語学習支援が必要な生徒への日本語教育の充実等	2,291万円
(3) 外国人が活躍できる環境づくり	県内企業の海外展開を支援するための留学生を対象とした合同会社説明会の開催等	320万円
	計	4,891万円

問合せ先

国際文化観光局国際課

課長 今井 電話 045-210-3740

一部新 コロナ禍における外国籍県民支援

1 目的

コロナ禍において、外国籍県民へのきめ細かな支援等が必要であることから、外国籍県民等が安全・安心に過ごすことができる環境をつくるため、「多言語支援センターかながわ」の運営体制の強化等を行うとともに、外国人留学生に対しニーズに応じた支援等を行う。

2 予算額 7,490万円

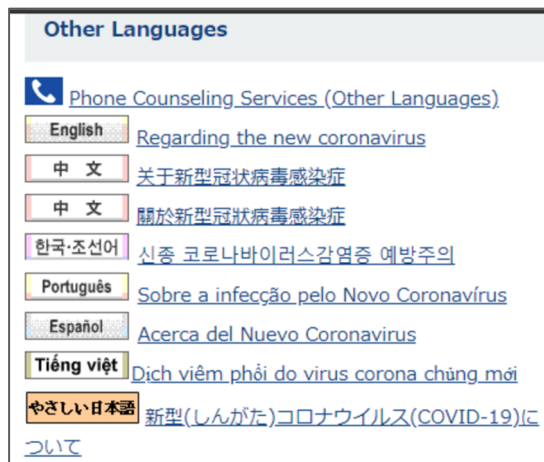
3 主な事業内容

(1) 多言語情報支援の取組み

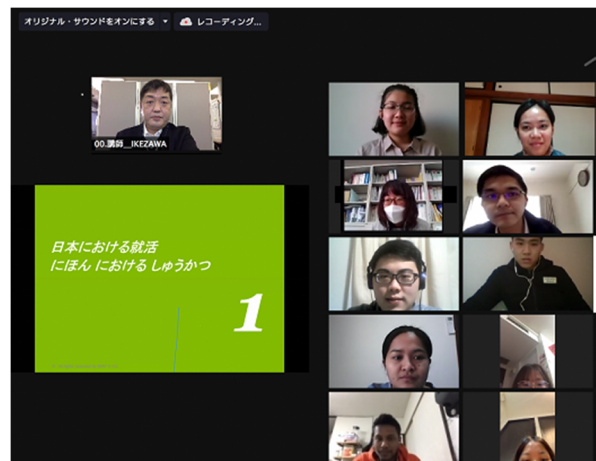
- コロナ禍において増加している問合せに対応するため、「多言語支援センターかながわ」の各言語の対応日数を増やし、外国籍県民等に対する多言語での支援体制を強化する。
- 地震等の災害時の緊急情報に加え、日々状況が変化する新型コロナウイルス感染症に関する情報を外国籍県民等に対して正確かつ迅速に伝達するため、多言語での情報提供を充実する。
- 外国籍県民が安心して医療を受けられるように、協定を結んだ医療機関からの派遣依頼を受け、医療通訳を派遣するシステムの運営を行う。

(2) 留学生支援の取組み

- コロナ禍において、日本語を使う場や、交流する場が減少し、不安を抱えている留学生等に対して、孤立や不安の解消を図るため、交流会を拡充する。
- コロナ禍において、留学生が円滑に就職活動を行えるよう、留学生就職支援講座や留学生を対象とした合同会社説明会等の取組みをオンラインで実施する。



「新型コロナウイルス感染症特設ページ」内の多言語情報提供



オンラインによる留学生就職支援講座

問合せ先

国際文化観光局国際課 課長 今井 電話 045-210-3740

1 目的

地域における日本語教育の総合的な体制づくりを進めるため、各地域の実情に応じた日本語教育に関するプログラムの企画・調整等を担うコーディネーターの配置等を行うとともに、日本語教室の運営等に取り組む市町村に対して補助する。

2 予算額 5,750万円

3 主な事業内容

(1) コーディネーターの配置等による地域における日本語教育の推進

各地域の実情に応じた日本語教育に関するプログラムの企画・調整等を担うコーディネーターを配置するとともに、日本語教育関係者等で構成される総合調整会議や市町村等連絡調整会議等を開催し、地域における日本語教育を推進する。

(2) モデル事業の実施

各地域の日本語教育に関する現状や課題などの実態把握や、オンラインも活用した専門家による日本語講座等、市町村の取組みを促すモデル事業を実施する。

(3) 地域における日本語教室のリーダー的人材の育成、県域でのネットワークづくり

各地域の日本語教室がより良い形で継続・発展していけるよう、地域における日本語教室の実践者（リーダー的人材）等を対象とした研修を実施し、教室間・地域間のネットワークづくりの支援を行う。

(4) 情報提供・相談対応・学習支援

外国籍県民等に対し、県内の日本語教育に関する一元的な情報提供や相談対応を行うとともに、地域住民に地域日本語教育への理解や関心を持ってもらうためのフォーラムを実施する。

(5) 市町村への財政的支援

市町村が実施する「地域の実情に応じた地域日本語教育の実施」、「ボランティアによる日本語教室への支援」等に対して補助する。



日本語教室



オンラインでのフォーラム

問合せ先

国際文化観光局国際課 課長 今井 電話 045-210-3740

1 目的

多文化共生の地域社会づくりを推進するため、(公財) かながわ国際交流財団が行う外国籍県民等へのベーシックサポート、多文化共生の地域社会の仕組みづくり、多文化理解の推進と国際人材育成等の取組みに対して補助する。

2 予算額 1億200万円

3 主な事業内容

(1) 外国籍県民等へのベーシックサポート

日本語を母語としない外国籍県民等へ医療、保健、子育てなどの生活に必要な情報をやさしい日本語や多言語で情報提供(メールマガジン「INFO KANAGAWA」、災害時の多言語支援情報サイト、多言語化した医療問診票等)する。

(2) 多文化共生の地域社会の仕組みづくり

市町村と連携した外国につながる子ども・家庭への支援や外国人コミュニティとの連携を図る。また、公的機関等の多文化対応力の向上を図るため、行政職員・教員向けの「やさしい日本語講座」の受講対象者を拡大する。

(3) 多文化理解の推進と国際人材育成

多文化理解の推進を図るため、オンラインも活用した各地域での多文化共生セミナーを開催するとともに、県内高校生、大学生等を対象とした多文化共生の理解を深める講座等を実施する。



月に2~3回 外国人に役にたつ
情報がとどきます

携帯電話(スマートフォン)やパソコンのEmailから、情報をいろいろな言葉でうけとることができます。
やさしい日本語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、タガログ語、英語、ベトナム語、ネパール語があります。



メールマガジン「INFO KANAGAWA」



多文化共生の理解を深める高校生向け講座

問合せ先

国際文化観光局国際課 課長 今井 電話 045-210-3740

コロナ禍における文化芸術振興の主な取組み

1 目的



コロナ禍にあっても、文化芸術の灯を消さないために、民間の文化芸術活動を支援するほか、新型コロナウイルス感染症対策に万全を期した上で必要な神奈川の文化プログラムを実施することにより、共生社会の実現や伝統文化の振興、人材育成につなげ、文化芸術の振興に取り組む。



2 予算額 2億2,659万円

3 主な事業内容

区分	主な事業名及び事業概要	3年度当初予算額
(1)	民間の文化芸術活動への支援	8,333万円
①	文化活動団体事業補助金 伝統芸能をはじめとする様々な文化芸術の振興を図るため、新しい生活様式に対応した、県内で活動する文化芸術団体の事業に対して補助する。	885万円
②	マグカル推進事業補助金 文化芸術関係団体などから企画を募集し、東京2020大会を見据えた世界に発信することができる、新しい生活様式に対応した文化プログラム（コンテンツ）に対して補助する。	1,800万円
③	バーチャル開放区（マグカル開放区のオンライン化） コロナ禍により活動の場が失われている、あらゆる文化芸術分野のアーティスト等にオンラインによる発表の機会を提供することにより、その活動を支援する。	1,501万円
④	イベントカレンダーの発行 県内の文化施設で実施される演劇、ダンス、伝統芸能等、様々な文化イベント情報を東京2020大会関連イベントを含め、県内外に発信するため、当該情報をカレンダー形式で掲載する日英併記の冊子を発行する。	2,277万円
⑤	マグカル・ドット・ネットの運用 県内の様々な文化イベント情報を、国内外に向けて総合的に発信するため、コロナ禍での公演実施状況を含め、リアルタイムな情報を総合的に多言語で発信するポータルサイトを運用する。	1,870万円

(2) 県重点施策との連携	11,000万円
<p>⑥ 共生共創事業 シニアダンス企画やシニア劇団の運営、障がい者が参加する舞台公演などを実施する。コロナ禍で外出の機会が減っているシニア層に向け、自宅から参加出来るリモート形式でのダンスワークショップや、劇団の稽古などにより、文化芸術の面から「未病の改善」や「共生社会の実現」への後押しを行う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="272 297 823 674">  <p data-bbox="341 701 730 768">横須賀シニア劇団「よっしゃ!!」 (令和元年11月公演)</p> </div> <div data-bbox="858 297 1158 763">  <p data-bbox="826 781 1187 848">安藤洋子氏 シニアダンス企画 (令和2年7月動画配信)</p> </div> </div>	7,000万円
<p>⑦ 東京2020組織委員会主催事業への参画 「共生社会の実現に向けて」をテーマとして、東京2020組織委員会が主催する「東京2020 NIPPONフェスティバル」に参画することにより、文化芸術の面から「共生社会の実現」を後押しするとともに、本県の取組みを国内外に発信する。</p>	4,000万円
(3) 伝統芸能の普及振興	839万円
<p>⑧ かながわ伝統文化こども歳時記 様々な伝統文化を、青少年をはじめとした多くの県民に鑑賞・体験する機会を設けることにより、コロナ禍において存続が懸念される伝統文化の普及促進を図る。</p>	839万円
(4) 文化芸術人材の育成	2,485万円
<p>⑨ パフォーミングアーツ・アカデミーの運営 歌・ダンス・演技の実践を学ぶパフォーミングアーツ・アカデミーの運営を通じ、一流の講師からの学びと発表の機会を提供することで、若手舞台芸術人材の育成を図る。</p>	1,200万円
<p>⑩ マグカルシアター 誰もが演劇・ダンス・パフォーマンスを自由に発表・発信できるよう、青少年センタースタジオHIKARI及びかながわアートホールを公演場所として無料で提供することで、劇団等の発表の場の確保とともに、舞台芸術人材の育成を図る。</p>	500万円
<p>⑪ 神奈川県美術展 美術作家及び県内中学生・高校生を対象とした公募美術展を開催することで、作品発表の機会を提供し、創作活動の支援を行うことにより、人材の育成を図る。</p>	785万円
計	2億2,659万円

※ 各事業は、新型コロナウイルス感染症対策に万全を期した上で実施します。

問合せ先	国際文化観光局文化課 国際文化観光局	課長 大場 電話 045-210-3800 マグカル担当課長 赤池 電話 045-285-0760
------	-----------------------	--